２０１９年度　第２回　北栄町歴史民俗資料館運営委員会　議事録

日時　２０１９年１１月２６日（火）
午後１時２５分～２時２０分
場所　北条農村環境改善センター　中研修室

参加者　北栄町文化財保護委員　：横濵純一・南場兄一・日置粂左ヱ門・中前雄一郎・遠藤晃子
女性団体連絡協議会代表：濵本武代
事務局：別本勝美教育長・杉本裕史生涯学習課長・牧本哲雄生涯学習課参事・
前田美友紀文化スポーツ推進室室長・手嶋仁美文化スポーツ推進室主幹・
磯江哲昭北栄みらい伝承館学芸員
欠席：西田鉄也（老人クラブ連合会代表）・秋藤敏夫（自治会長会代表）

１．開会
課長：お忙しいところ、お集まりいただきありがとうございます。予定の時間より少し早いですが、出席予定の方がお揃いですので会を始めさせていただきます。
委員長が不在になっておりましたが後任の委員の方が決まりました。まずはみなさん自己紹介をしていただいて、その上で、委員長互選、委員長あいさつの流れでお願いできればと思います。

２．自己紹介
各人、所属と名前を紹介

３．委員長の互選
決め方について事務局の案を提案して良いでしょうか。（よい）
事務局としては６月から委員となっていただいています横濵純一さんに委員長をお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。（お願いします）
では横濵純一さんよろしくお願いします。

４．あいさつ
委員長：委員長をさせていただくことになりました。みらい伝承館ではいい展示がされているなと見させてもらっています。この地域を新たな視点で光を当てて紹介していければと思いますので、みなさんご協力をよろしくお願いします。

５．報告事項
（１）２０１９年度実施事業について…【資料 P.1～3 】
委員長：では事務局お願いします。
磯江：展示事業について。今年度７本の企画展。生田・加藤常設展は年３回の展示替え。

総入館者数は１１月１５日現在で１，５５６名。

手嶋：豊田家関係資料を鳥取中央育英高等学校同窓会に譲渡、設備備品の改修（１階展示室、収蔵庫照明 LED 化・展示台クロス張替)、北栄文化回廊実施報告、れんべい人形を「百段雛まつり展」に貸出。

委員長：ご意見、質問がありましたらお願いします。

中前：砂丘ブドウ栽培の企画展はとてもよかったと思います。来館者は新聞に載ってから増えたような状況でしょうか？

磯江：来館者数は新聞やテレビなどで紹介してもらったのが大きかったので、今後もマスコミを通じて発信したいと思います。

中前：内容、資料とすごい掘り起こしなので、これを財産にしてまた次に繋げてもらいたい。資料はいつでも見られるものか？

磯江：個人所蔵のものだが、お願いすれば出してもらえるのでは。また、鳥取県文化財課の方に資料の価値を見てもらい県の指定文化財になるような形で進めていけたらと思います。ワインも北栄町の目玉の一つとして活かしていきたい。

濵本：私も展示を見させてもらったが、明治の頃のことや古いデータなどもあり感心しました。栽培面積や出荷量の推移も町おこしのきっかけに繋がればと思います。

磯江：データは「鳥取県ブドウ沿革史」にまとめてあったものから拾い出して展示に使わせてもらいました。

課長：補足説明。広島国税局にも熱心に関わってもらい、過去の酒税関係資料を調査することができました。連携することが大切だと感じました。

委員長：その他ご意見、質問がありましたら。(特になし)

（２）その他

委員長：委員のみなさん何かありますか。(なし)

事務局何かありますか。(なし)

６．協議事項

（１）２０２０年度事業計画について…【 資料 P.4～14 】

委員長：では事務局お願いします。

磯江：展示年間計画及び開催要項

前田明範遺作展：油彩画を紹介。２０２０年度から「郷土の作家たち」は年間１回にする方針で行きたい。

北栄町の歴史：北条地区から発掘された遺物。

北栄町の自然：磯江茂秋氏の協力により、植物標本や写真を紹介。夏休み期間中でもあり、ワークショップ（植物観察会）を計画。

移動美術館　：県立博物館に開催を要望していたが、県内団体との調整により実施できないとの連絡があった。再検討する必要あり。

特別企画展　：砂丘社誕生１００周年。初期をはじめ現在のメンバーの作品を紹介。
生活道具展　：電化製品の移り変わりを紹介。
日本博：鳥取県と連携し、鳥取民藝と生田和孝を紹介。

委員長：ご意見、質問がありましたら。
遠藤：日本博に関して、陶芸だけでなく木工など他の分野で倉吉市や湯梨浜町の作家さんも関連付けて紹介してもらえればと思います。
磯江：基本的には北栄町という枠があるので、どういった解釈で紹介していくのかは検討したいです。
遠藤：北栄町は大切だが、他と関わり合うというところも多く持って欲しい。
課長：鳥取県が文化庁の補助金を受けて実施するもので、北栄町も連携する中で今のご意見が生かされるのかは、検討はできると思うが難しい面があるかもしれないことをご承知いただきたい。
遠藤：検討に検討を重ねて進めてもらいたいです。
濵本：電化製品の企画展だが、風力発電事業が始まって確か１５年になると思うので、何か少しでも関連させるといいのではないでしょうか。
磯江：ご提案ありがとうございます。明治時代に始まった電気事業から電化製品、風力発電にもつながっていますので展示内容を検討したいです。
南場：資料８ページ、会期の年が誤りでは。（誤２０１９年　正２０２０年）
委員長：資料５ページは「企画展」が記載されていない。
手嶋：誤りです、失礼しました。
事務局から。来年度みらい伝承館が開館３０周年を迎えるので、何か催しを企画できればと考えています。もしアイデアがあればご提案いただきたけるとありがたいです。
前田：時期としては文化回廊の頃に。大きなことは難しいかもしれないが、自分たちの力で面白いことができればと思っています。
課長：北栄町は前田寛治の出身でもあり、文化の薫る町として文化回廊を開催し、特別企画展も砂丘社を取り上げます。それらをベースにしながら、来館者や町民の方が楽しめる内容にしていきたいです。
委員長：ご意見、質問がありましたら。（なし）
それではこの方向で進めるようお願いします。
磯江：資料１３～１４ページ「郷土の作家たち」について。来年度の企画展についてでも触れましたが、１年に１人の紹介とし、現時点では２０２１年度以降の候補作家を複数挙げておき、作品数などの状況に応じて企画していきたいと考えています。他に作家の情報があれば教えていただきたい。
委員長：ご意見、質問がありましたら。
遠藤：タニダヒデオさんは北栄町ゆかりになりますか？
南場：旧羽合町の方です。

過去の展示で、作家１人だけではなく師弟展のものがあったので、作家１人だけに限定せず、グループで企画するのはどうか？バリエーションが増えるのもいいのでは。

課長：選考基準があるので、いただいたご意見も参考に選考基準の変更も含め今後検討し、また報告や提案をさせてください。

磯江：自分の希望としては「郷土の作家たち」は作家一人で、グループであれば「郷土の作家たち」とは別枠で企画してはと思います。

遠藤：そうなると「北栄町ゆかりの」の部分が難しくなるのでは。でも、同時代に活動した人たちの作品なども展示できるといいと思います。例えば砂丘社にしてもスタートした時のメンバーだけでなく今も活動を続けている方の作品もぜひ出してほしい。

委員長：企画展にあたっては少し柔軟な視点も持って検討してもらえればとのご要望。

課長：頂戴したご意見を踏まえて「郷土の作家たち」のあり方、企画展の全体年間計画について事務局で改めて検討します。ありがとうございます。

委員長：よろしくお願いします。その他ご意見、質問がありましたら。

濵本：資料１３ページの一覧で亡くなられた方もあるが、物故とはなっていないのですね。

磯江：修正します。

（２）その他

委員長：委員のみなさん何かありますか。（なし）
事務局何かありますか。（なし）

７．その他

委員長：委員のみなさん何かありますか。（なし）
事務局何かありますか。

手嶋：委員の任期が今年度末までとなっております。お世話になりました。来期もお願いさせていただく方があるかと思いますがその際は引き続きよろしくお願いします。

教育長：委員のみなさんのお蔭で様々な人物等に光を当てて企画展を開催することができました。今後も文化の薫る町ということでさらに発展していきたいと思います。ありがとうございました。

８．閉会